高くはないという認識を持っている。

●民生費

徘徊探知機の貸与の実績

問　徘徊探知機の貸与の実績が一件だが、その実績についてどう考えるか。

答　徘徊探知機の貸与実績は十三年度が二件、十四年度が一件で利用が少ない。利用の少ない原因は、探知機の大きさが携帯電話と同じくらいあるからだと考える。さらに小型の機種ができれば見積りを取って研究していきたい。

●衛生費

行政サービスの中身

問　保健医療センターやユトリーナ蒲郡は、委託料等にお金をかけているわりに閑散としているがどうか。

答　保健医療センターは予防接種、健診、成人向け健康教室、人間ドックなどに有効に使われている。ユトリーナ蒲郡は今は赤字だが、水中健康教室などさまざまなイベントを開催して来場者増、収益増を図っている。

●農林水産業費

松くい虫対策

問　三河のクロマツなど美しい松が無くなってきたので、松くい虫対策の薬剤散布、アンプルの樹幹注入はもう必要ないと思うがどうか。

答　松くい虫の措置法が廃止され、今は空中散布はやっていない。樹幹注入アンプルは、市有地の松だけでなく、希望があれば民有地の松も行っている。

●商工費

竹島水族館

問　水族館の入場者数が減っている。この上半期の入場者数の動向、幼児の観覧料について伺う。

答　上半期の数字はつかんでいないが、天候不順等で逆に入場者数が昨年より大幅に増えたと聞いている。

　幼児の観覧料は、大人一人につき一人が無料だが、受付の表記がわかりづらいので見直したい。

●土木費

駅西再開発

問　事業計画中止により組合が解散することとなった駅西再開発事業で、残ったままとなっている組合の借金の方向性はどうなっているか。

答　市とのかかわり合いの中、戸田建設と組合役員の二回の話し合いを持った。確約はできないが、現在、債務者に対して良い方向に動いている。

■9月定例会の日程

3日	本会議〔会期の決定、議案説明、一般質問など〕 決算審査特別委員会
4日	本会議〔一般質問〕
5日	本会議〔一般質問〕
8日	総務委員会
10日	決算審査特別委員会
11日	決算審査特別委員会
12日	決算審査特別委員会
18日	本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決など〕

●消防費

自主防災会の状況

問　自主防災組織が有効的に機能するような体制がまだできていないのではないか。

答　最低年一回の訓練を行っていただき、年間平均すると五千人以上が訓練に参加している。しかし、現在では、お年寄りの参加が多く、もっと若い人に浸透させていく訓練内容を考える必要があると考えている。

●教育費

学校図書費の充実

問　総合的な学習や調べ学習など、自らが物を調べ、学んでいくという教育の方向性のなかで、学校の図書室の本が古いものばかりである。もっと本を充実すべきではないか。

答　十四年度に要望があり、十五年度は図書購入予算を何割かアップした。次年度についても前向きに考える。

■歳入

市税の滞納繰越

問　市民税や国保税など市税の滞納繰越残高が十六億円を超える額となっている。どう対応していくのか。

答　十六年度から先進都市で効果がある嘱託制度を導入し、導入に伴い収納課職員の負担が軽くなる分を徴収困難な案件に専念させたい。また、十二月からの総務部、市民福祉部の管理職による臨戸の結果次第で、全庁的な対応も考えたい。

●モーターボート競走事業特別会計

　年間の売上額は七百九十一億五千三百四十七万円で、前年度比二九・二％の増、利用人員は一二・五％の増となっています。

　歳出で、この会計から他会計への繰り出しは、下水道事業会計へ八億五千万